

題字

三水小学校 1 年

ふれあいポケット
さくちみさき

2022

6/30

No.195

FUREAI POKETTO



福島ひまわり里親プロジェクトとは、全国各地で「里親」としてひまわりを育て、その種を福島県で東日本大震災の復興のシンボルとして咲かせる活動

福島ひまわり里親プロジェクト

今年度も北部高校2学年 24 名は福島ひまわり里親プロジェクトに参加しています。同プロジェクトの一環として、「ヒマワリを咲かそ〜会」と一緒に福井団地にひまわり迷路をつくる活動を始めました。

先日、南部保育園の園児やボランティアの皆さんに協力いただき約 1,000 本のひまわりを植えました。開花は 8 月頃を予定しています。一緒にひまわりを楽しみましょう！

※ひまわり迷路の場所 福井団地コミュニティーセンターより西へ徒歩 10 分（数年前までため池だった場所です）

●●●主な記事●●●

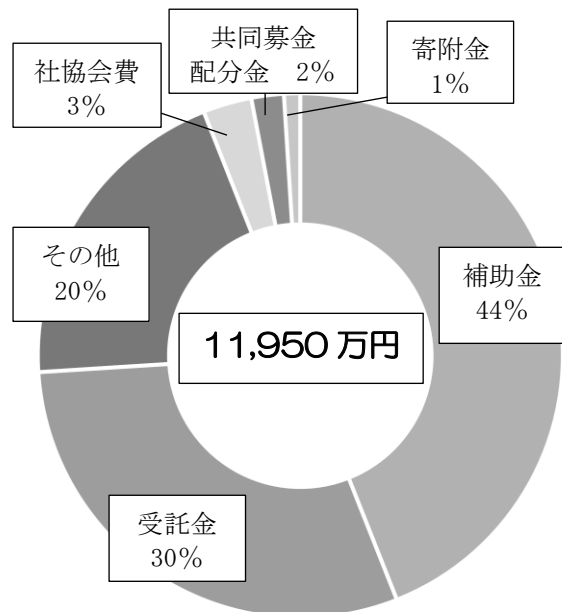
- P2.3 令和3年度飯綱町社協決算・事業報告
- P4 地域福祉計画・地域福祉活動計画 PR 動画の声の出演者募集!!
- P5 メーラプラザ特別企画事業のご紹介、救急法基礎講習会開催のご案内
- P6.7 事業所紹介、今後の予定ほか
- P8 クイズコーナー、りんごのつぶやき新ささらばさら(4コママンガ)

令和3年度 飯綱町社会福祉協議会 決算・事業報告

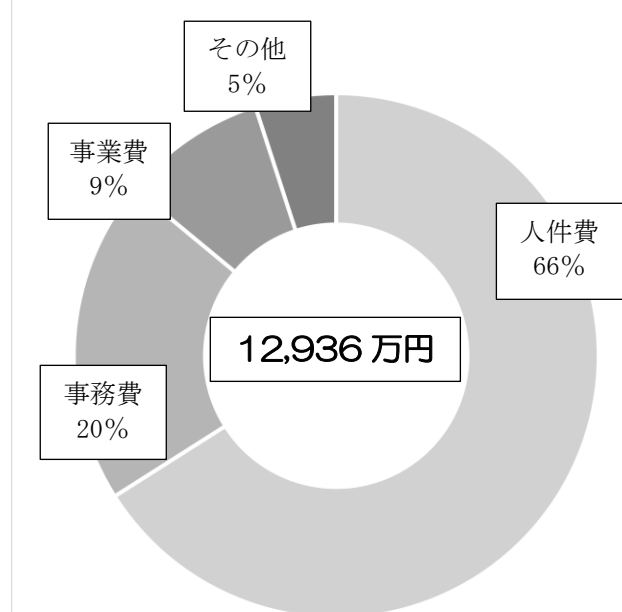
総収入額	579,577,543 円	【 前年比 4,670,539 円減 】
総支出額	575,202,604 円	【 前年比 6,259,940 円減 】

※法人内での資金繰入金、収入、支出は除いています

法人本部・地域福祉等事業収入



法人本部・地域福祉等事業支出



◇・・・事業報告（主な事業）・・・◇

◆相談援助対応件数【延べ 4,585 件】

＊生活困窮者就労支援【年間 69 回・延べ参加者数 240 人】

＊フードバンク支援【延べ 364 件】

◆配食サービス【受託事業配達食数 10,409 食・社協独自配達食数 2,956 食】

◆地域づくりの推進

＊地域福祉活動計画の基本理念を横幕にし、全地区に配布

＊【災害時支えあいマップ更新 26 地区、マップを活用し訓練実施 13 地区】

＊【地区福祉学習会 6 回・お楽しみ食事会 2 地区】

◆ふれあい広場 【新型コロナウイルス感染予防のため中止】

◆地域福祉フォーラム 【新型コロナウイルス感染予防のため中止】

◆いきいきサロンの推進 【38 地区・延べ参加者数 2,235 名】

◆生活支援体制整備事業

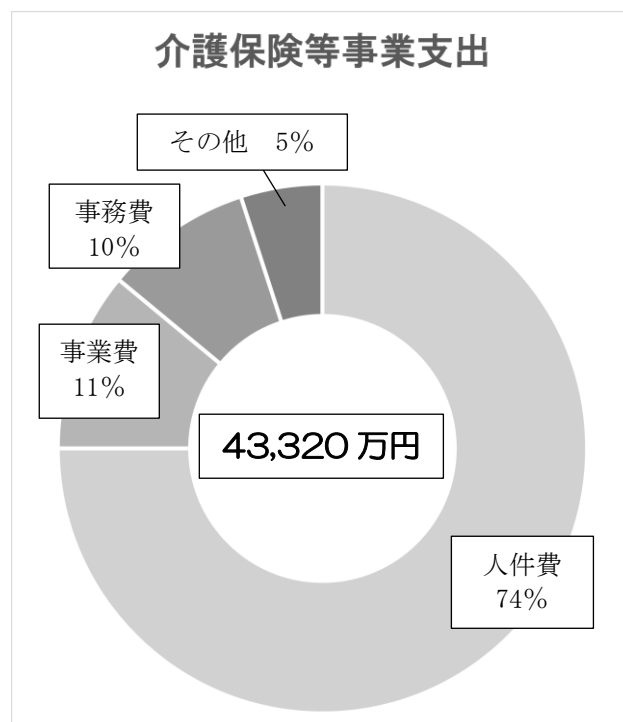
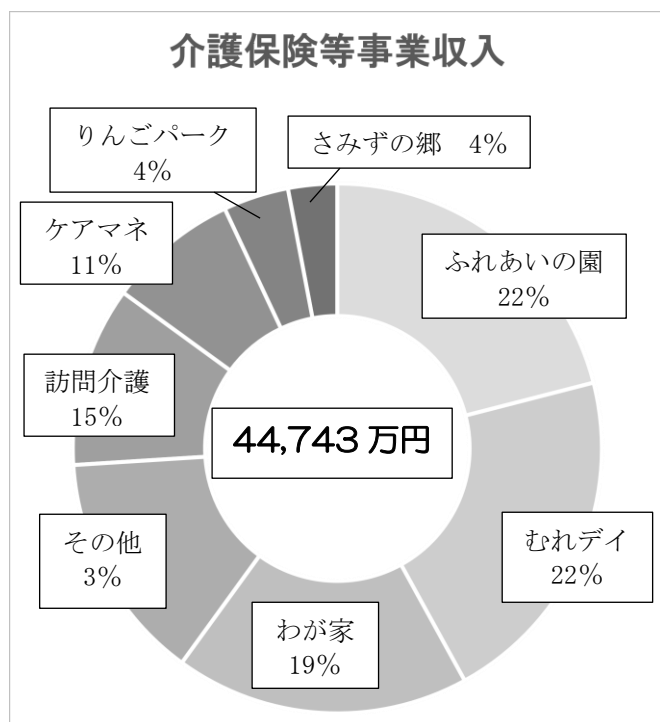
＊住民主体型サービスの運営支援【通所型サービス B・訪問型サービス D】

＊町内の「地域資源マップ」のデジタル化・いいつなわくわく発見健康マップ実施

＊有償たすけあいサービス【相談件数 255 件】

◆飯綱町多世代交流施設「メーラプラザ」管理運営

＊運動機能向上訓練事業【多世代パワリハ・延べ利用者数 3,387 名】



◇・・・事業報告（主な事業と延べ年間利用者数）・・・◇

◆ケアマネ	【 2,664 名】	◆むれデイサービス	【10,353 名】
◆訪問介護	【18,775 名】	◆りんごパーク	【 3,799 名】
◆ふれあいの園	【 9,310 名】	◆わが家	【 6,580 名】
◆さみずの郷	【 2,907 名】	◆わが家通所介護	【 709 名】

貸借対照表

資産の部		負債の部	
流動資産	168,045,901	流動負債	48,901,694
固定資産	414,242,420	固定負債	171,501,539
基本財産	113,420,354	負債の部合計	220,403,233
その他の固定資産	300,822,066	純資産の部	
		基本金	2,000,000
		国庫補助金等積立金	27,523,625
		その他の積立金	108,750,000
		次期繰越活動増減差額	223,611,463
		～うち当期活動増減差額～	3,176,480
		純資産の部合計	361,885,088
資産の部 合計	582,288,321	負債及び純資産の部 合計	582,288,321

社会福祉協議会の財産合計額

基本財産特定預金	2,000,000 円	【社会福祉協議会の資本金】
基本財産固定資金	111,420,354 円	【さみずの郷・わが家建物】
積立資産	108,750,000 円	【施設整備等を目的とした積立金及び有価証券】
固定資産物品	23,970,527 円	【10 万円以上の固定資産物品 前年比,167 万円減】
繰越金	119,144,207 円	【運転資金 前年比 437 万円増】

今、人口減少や少子高齢化
そして一人ひとりの価値観や
生活様式の多様化など
社会の環境の変化によって
人と人とのつながりが
希薄化し
家庭や地域で支え合う力が
弱まりつつあります
また、ひとり暮らしの高齢者や
高齢者のみの世帯が
増加したり
ひきこもりや
子育て家庭の孤立
虐待、経済的に困窮して
いる世帯など新たな
課題が表面化してきて
います



こうした暮らしの変化に
制度・分野ごとの『縦割り』や
「支え手」「受け手」という関係を
超えて地域住民や
地域の多様な人・団体・機関が
「我が事」として誰もが役割を
持ち活躍できる「地域共生社会」
の実現が求められています。
この「地域共生社会」の実現に向
け具体的な取組みを示したものが
「地域福祉計画・地域福祉活動
計画」です



町では
この計画の理念を
『「おはよう」と笑顔
を交わす地域の絆』
というスローガンのもと
「あいさつ」から明るく
安全で住みよい
地域社会づくりに
取り組んでいます！



その啓発のひとつに
まんが「木綱タロウの絆
走記」をやってきましたが
今度はこれを
動画として制作すること
になりました

そこで、地域福祉計画・地域福祉活動計画PR動画の 声の出演者募集!!

○収録日

- ◆日時 令和4年8月20日(土)
午前10:00~12:00
- ◆場所 メーラプラザ ホール
- ◆対象者 小学生以上の方

○募集申し込み

令和4年7月22日(金)までに
飯綱町社会福祉協議会
地域福祉課(253-1001)
までご連絡ください

この計画を多くの方に
知っていただくために
小学生以上だって
これって声優って事
おもしろそう

どなたでも
出来ます!
たくさんの方のご参加
ご協力お願いしまーす

おらにも
できるかな

私らも
やってみるかね



「サマーアート展」を開催します

今年も町内の障がい者福祉施設やデイサービス、フリースクール、ボランティアグループなどで活動をしている皆さんの絵画や書道、工作などを展示する「サマーアート展」を下記の日程により開催します。是非、ご鑑賞にお出かけください。

日 程：令和4年7月23日（土）から7月30日（土）
会 場：メーラプラザ ホール（普光寺 920 番地）
時 間：午前9時から午後5時まで



『夏休み親子自由研究教室』開催のお知らせ

今年の自由研究教室では、長野県内でご活躍のマジシャンの先生から親子でマジックを学びます。そのマジックを持ち帰り、家族や学校、地区などで披露してみませんか？当日は「てんぐカフェ」開催日なので、終了後に昼食をご希望の方はあわせてお申し込みください。みなさまのご参加をお待ちしております！！

- 【対 象】 小学生の親子 10 組（5 組ずつを 2 部に分けて開催）
【日 時】 令和4年8月6日（土）
●前半の部：午前10時30分～11時00分（5 組 先着順）
●後半の部：午前11時10分～11時40分（5 組 先着順）
【会 場】 メーラプラザ ホール（普光寺 920 番地）
【申込方法】 8月2日（火）迄にメーラプラザ（217-0345）にご連絡ください。



救急法基礎講習会開催のご案内

基本的な心肺蘇生や傷の手当について学ぶ講習会です。緊急時に役立つ正しい応急手当の知識と技術を身につけませんか？初めての方も大歓迎です！

- ・日 時：令和4年8月8日（月） 13時30分～15時30分
 - ・場 所：メーラプラザ ホール（飯綱町普光寺 920）
 - ・参加費：無料
 - ・定 員：15 名
 - ・持ち物：筆記用具、マスク（着用）
 - ・申込先：飯綱町社会福祉協議会（電話）253-1001
 - ・申込締切：7月25日（月）
- ※当日は動きやすい服装でお越しください。
※自宅での検温にご協力をお願いします。風邪症状等ある場合は参加をお控えください。

主催：飯綱町救急員連絡会（飯綱町赤十字奉仕団救護班）

デイサービスセンターふれあいの園かわら版(移乗)

「介護って腰が痛くなる！」そんな風に思っている方も少なくないかと思います。ベッドから車イスに移る(移乗)時に腰を痛めてしまう・・・そんな話もよく聞きます。

そんな時は「トランスファーボード」を使って移乗していただくことがあります。



トランスファーボード
(イージーグライダー)



トランスファーボードを下の写真のように車椅子とベッドの間に置き、滑り台を滑るように移乗するので介護をする方はほとんど腰に負担がかかりません。

写真の男性(77kg)も簡単に移乗することが出来ます。

介護される方も滑るだけなので殆ど身体に負担がありません。

介護保険でベッドを借りている方なら付属品としてレンタルも出来ますので詳しくはケアマネさんや福祉用具の方にお尋ねください。



デイサービスセンターふれあいの園

☎026-253-8510

SUN



のあれこれ。

DVD を見るときは誰かと一緒に見ると内容に集中できないので、ひとりで見ることを希望される利用者。普段から人との関わりは必要最低限で用事のあるときのみ。いつものようにひとりで鑑賞している部屋から「●●さん助けて～」と声がしたので「どうしたの？」と部屋に駆けつけた私。迫力ある映像だったので「怖いですね～」と言うと利用者は笑いながら「タコが怖いでしょう？」と言うのです。こんなやりとりは初めてでしたし、その時の笑顔に私はビックリ！

誰かと一緒にいたい時もある。ひとりでいたい時もある。誰もが持っている「いろいろな気持ち」をこの方も持っているという、当たり前なのに気がつくことができた瞬間でした。これからも「いろいろな気持ちがある前提」で支援をしたいと改めて思いました。





OZ Field 徒然歳時記

OZ Field は 2021 年 4 月 10 日に「いづなコネクト WEST」の 1 階にオープンしたフリースクールです。すべての子どもが、ポジティブに生きるための学びの場を選択できるような学びの場を作りたいと願っていた代表の市川と、そのような学びの場が必要と考えていた NPO 法人ライフワーク・レインボーが力を合わせて一緒に作ろうと設立しました。現在小学生から中学生までおよそ 20 名が登録し元気に活動を展開しています。



2021 年 9 月からは、フリースクールへ入会している子どもを対象とした放課後等デイサービスも併設し、より一層、一人ひとりに応じて必要となる支援を行うための体制が充実しました。

今年度は、地元の小学校の職員研修を行うなど緊密に連携したり、ワーケーションや移住者促進のイベントに協力したりするなど、飯綱町の教育が多様で豊かなものになるために力を尽くしたいと思っています。また、地域の皆さんとの交流の機会も大切にして、地域に愛されるフリースクール「OZ Field」として成長したいと思っています。体験や交流など、お声をかけていただけたら嬉しく思います。

あげますください

■あげます

- ・シルバーカー 1 台

詳細は飯綱町社会福祉協議会（電話）
253-1001 までお問い合わせください。

寄付欄

匿名様	レトルトカレー
匿名様	紙オムツ多数
匿名様	30,000円
東洋羽毛北信越販売(株)様	食品多数

地域福祉の推進に活用いたします。
ありがとうございました。

今後の予定

7月	4日(月)	スポーツウェルネス吹矢
	6日(水)	スロージョギング
	7日(木)	ナイトウォーキング
	9日(土)	てんぐカフェ
	14日(木)	スロージョギング ナイトウォーキング
	18日(月)	スポーツウェルネス吹矢
	19日(火)	オレンジカフェ
	20日(水)	スロージョギング
	21日(木)	ナイトウォーキング
	23日(土)	てんぐカフェ 地域福祉フォーラム サンクゼール婚活パーティー
	28日(木)	スロージョギング ナイトウォーキング



社協ってなんだ？
気になる方は右記より簡単に
アクセスできます。ぜひご覧ください。

Instagram



飯綱町社協 HP



クイズコーナー

ふれあいぽけっと6月号を読んで答えを見つけよう！

正解者の中から最大5名様に素敵なお楽しみプレゼント♪

- ① ひまわり迷路がある場所は？
ヒント：1ページを読んでみよう！
- ② 地域福祉計画・地域福祉活動計画PR動画の収録日は？
ヒント：4ページを読んでみよう！

景 品

当選者の発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

景品は菊寿しとCoCo Cafeで使えるメーラプラザ共通500円券です。ぜひご応募ください。

応募方法

ハガキ表

389-1206

飯綱町普光寺920
飯綱町社会福祉協議会
「クイズコーナー」

ハガキ裏

- ・ 答え
- ・ 住所
- ・ 名前
- ・ 電話番号
- ・ 今月号の感想など



社協ホームページクイズ応募フォーム又は社協来所による応募も受け付けております。(町内在住の方に限ります) 締切りは、7月29日(金)【消印有効】です。皆様からのご応募お待ちしております。



朝の通勤時、車中でラジオを聴いていたら、学校の部活の様子を取り上げていた。教員が部活の指導も担う例が多いが、残業も土日も関係なしで負担が重すぎる。とか、少子化での影響でどの学校も部活が小規模化し、自校だけでは部員が少ないからチームが構成できない、などが課題となっている。だから教員以外の方を指導者に迎え、学校単位から地域全体で運営する部活に切り換えることで、教員負担を減らし活動も維持する方向で議論が進んでいる、と。リスナーからは「これでは月謝支出が増えるのでは？」「その前にもっと先生を増やしたら？」という意見もあった。

その日のお昼休み、会社で女性社員数名がお弁当を食べながらボヤいていた。「うちの息子、学校の部活でバスケットボールやっているけど、送迎が多くて本当に大変」「うちの子も野球やっているけど、埼玉県の川越まで送迎したよ、もう遠出は慣れたけどね」「〇〇中学はバレー強豪校だから、子どもを入学させてくれて、わざわざ県外から引っ越して入学する家族もいるんだって、でも何年か前に顧問の先生が他校に転勤になって、バレー部のために引っ越して来た家族は相当ショック受けたらしいよ」と。

程々にやれば教員も生徒も家族も地域も行政も、皆が楽なのに、多くを犠牲にしても上を目指したいという思いと努力と苦しみを、我々はどう受け止めれば良いだろう？